

質問者

質問事項

一般質問

松尾 崇……○大船駅周辺の再開発について  
 千 一……○大船駅エスカレーターの時延長について○大船駅の駐輪場について○バリアフリーについて○国宝館のエレベーター及び車椅子でも使えるトイレの表示について○鎌倉中央図書館の誰もが利用できるエレベーターの設置について○交通量の多い道路での安全な歩道の確保、整備○外出支援制度について○段葛の出入口の二段の段差について○障害児の学童保育について○市内の大きな公園に誰にでも使いやすいトイレを○鎌倉文学館にエレベーターを○鎌倉社協の窓口を土・日も開けてほしい

児島 晃……○教育行政の諸問題について  
 伊藤玲子……○行財政改革の推進について○教育行政の諸問題について

2月定例会では4名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにたずねるもので、ここではその一部を掲載しました。詳しくは6月上旬発行予定の本会議録を図書館等でご覧ください。

# みずから学び、考える学校に

本年四月から、全国の小・中学校で新しい学習指導要領が全面実施されました。新しい指導要領では、基礎基本を確実に身に付け、それを基に自分で課題を見つけ、みずから学び、みずから考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力や、豊かな人間性や健康と体力などの「生きる力」を育成することを基本的なねらいとしています。

一方、授業時数や教育内容の削減によって、児童・生徒の学力が低下するのではないかと懸念も寄せられています。

こうした中、今定例会では教育行政に関して、次のような質問を行いました。

質問者：基礎基本の学力は、人格形成や個性開花の土台であると考えています。教育長の見解を聞きたい。

教育長：いろいろな知識を十分に身に付けて、生きて働くような将来の知恵にしたいという願いを持って取り組んでいる。質問者：同じ知識でも、詰め込みではなく、本人がみずから学び取るということが大事と思うが、どうか。

教育長：そのとおりである。平成十四年度から全面実施される新しい学習指導要領は、従来の教える学校から、みずから学び、考える学びの学校に転換を図ったものであり、児童・生徒が学習内容等について事前に承知した上で、みずから望んで取り組むことが最も大切であると考えている。

質問者：学力低下が心配されている中、本市では学力向上についてどのような取り組みをしているのか聞きたい。

学校教育担当部長：基礎基本の定着を図るために、少人数の指導、きめ細かな指導を行うとともに習熟度別指導の研究を行っていききたい。また、朝の読書活動を市内全校で実施するよう準備を進めている。

質問者：不登校児に対して、どのように学習指導をしているのか。

学校教育担当部長：学校には登校できないが、教育相談指導室に通室できる子どもに対して学習指導をしている。また、平成十三年度からは、相談指導員による訪問指導に

取り組んでいる。さらに、不登校の子どもに対して家庭訪問をし、家庭と協力して子どもとの状況に合わせた学習指導をするよう各学校に指導している。

質問者：教師の指導力や子どもも学力を保護者や地域住民に外部チェックをしてもらう学校評価制度の導入についての検討をしているのか。

教育長：文部科学省では公立学校に対して学校の自己点



朝の読書活動の時間(深沢中学校)

検や自己評価を進めるよう促している。国の動向を見極めながら、今後の研究課題としたい。

## 大船駅東口再開発 総体的方向性は

大船駅東口市街地再開発事業は平成四年の第一地区完成以降第二地区の整備が残されている。こうした中、市は昨年六月に第二地区の早期実施を図るため、事業を進めていく上での基本的考え方である総体的方向性(案)を示しました。

今定例会では、経済情勢の低迷など再開発事業をめぐる環境が激変する中、今後の対応などについて、次のような質問を行いました。

質問者：大船駅東口の市街地再開発事業は、総体的方向性(案)に基づいて進めるとの認識でよいのか。

市長：再開発事業は事業の見直しを行うことがまず必要と考えている。事業の見直しとは、現在の社会経済情勢に見合った事業として早期に立ち上げることであり、そのために事

業の総体的方向性の確立に向けた協議・調整を行っている。

質問者：権利者ヒアリングの内容について聞きたい。

大船駅周辺整備事務所長：総体的方向性(案)にある商業の規模、公共施設施設の導入、住宅の導入、駐車場のあり方についてヒアリングを行った結果、おおむねの理解が得られたと考えている。

質問者：総体的方向性(案)では第二・三街区のビルが三階四階の予定になっている。もつと上部の利用を積極的に進めたいと考えるが、どうか。

大船駅周辺整備事務所長：仲通りなど周辺商店街との連続性や事業の成立性を考慮して低層、低容積の計画を提案しているが、権利者の意向や床需要の動向を踏まえつつ、事業区域内で適正な高度利用など

が図れるよう、施設建築物の修正も含めて検討していきたい。

質問者：民間活力の導入について聞きたい。

大船駅周辺整備事務所長：現在の社会経済状況の下で早期の事業実施を図るためには民間活力導入について検討する必要があると考えている。

質問者：具体的なタイムスケジュールを示すべきである。大船駅周辺整備事務所長：当面は総体的方向性(案)を基本として事業の成立性や都市計画の観点から必要な検討・修正を図っていききたい。平成十四年度中には事業の方向性の確立を見たいと考えている。

質問者：市長が行政の強い意思を見せる前向きな姿勢こそが市民と関係者への刺激になると考える。西口整備、南部地区や北口なども含め、大船のまちづくりを一つのものと捉えて、だれもが安全で快適な楽しく集えるようなまちを目指してもらいたい。

## 福祉政策を問う

### 成熟した福祉社会とは

ノーマライゼーションの理念が浸透し、福祉サービスが転換期にある中、今定例会では、高齢者福祉・障害者福祉に関連して、次のような質問を行いました。

質問者：交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定段階から障害者など当事者の声が反映できるシステムにしたいが、どうか。

緑政都市部長：基本構想の策定に当たっては、障害者や高齢者など当事者の意見を十分に反映することが重要である。さまざまな場を通じて、障害者や高齢者を始めとする駅利用者との意見を伺ってバリアフリー化に取り組みたい。

質問者：民間活力の導入について聞きたい。

大船駅周辺整備事務所長：現在の社会経済状況の下で早期の事業実施を図るためには民間活力導入について検討する必要があると考えている。

質問者：具体的なタイムスケジュールを示すべきである。大船駅周辺整備事務所長：当面は総体的方向性(案)を基本として事業の成立性や都市計画の観点から必要な検討・修正を図っていききたい。平成十四年度中には事業の方向性の確立を見たいと考えている。

質問者：市長が行政の強い意思を見せる前向きな姿勢こそが市民と関係者への刺激になると考える。西口整備、南部地区や北口なども含め、大船のまちづくりを一つのものと捉えて、だれもが安全で快適な楽しく集えるようなまちを目指してもらいたい。

## 不動産取得議案

今定例会に不動産取得するための議案三件が提出され、いずれの議案も議員の賛成により可決しました。

◆都市計画公園夫婦池公園用地  
 土地の所在は鎌倉市鎌倉山三丁目一五〇九番ほか八筆で、地目は田及び山林、面積は五千四百三十四平方メートル、取得価格は六千五百三十四万七千六百円です。議案では、今回の取得が、市の買収計画に基づき、都市計画公園夫婦池公園用地の一部を引き続き取得するものであることから、妥当としたものです。

◆市立御成小学校校舎及び体育館  
 鎌倉市学校建設公社が建設した校舎及び体育館のうち、校舎二号棟の一部及び体育館の一部を取得するものです。取得面積は校舎等の全延べ床面積の約一・五%に当たる八百三十七・七三平方メートル、取得価格は三億一千百三十二万二千円



取得が進む夫婦池公園

ムヘルサービスの対象にする方向で検討している。本年の一月に当事者の声を反映させるためのアンケート調査を実施した。今後、調査結果を踏まえて、外出支援制度のあり方について詳細な検討をしていきたい。

質問者：市長の提唱する成熟した福祉社会とはどのようなものか。

市長：身近な日々の暮らしの場である地域社会で、子どももお年寄りも、障害のある方もない方も、だれもが社会に参加し自立した生活を送ることができるよう、支援する人もされる人も対等な関係を保って支え合いながら生活できる社会づくりが必要であると考えている。このような意識を市民も行政も一人ひとりが持つて生活を営んでいけることが成熟した福祉社会と考える。